

2. 岡山大学文学部の教育理念・目標

科学技術の急速な発展やグローバル化の進展の中で、「人間とは何か」という問が、以前にも増して重要になっています。私たちの学部は、この根源的な問に、人文学の様々な分野から総合的にアプローチすることを特色としています。文学や哲学など、人間が長い歴史を通じて築き上げてきた豊かな知的遺産に学び、それを現代に生かすという課題に取り組めます。また、従来の学問の枠組みにとらわれず、人文学内外の多様な領域との協力・連携を積極的に推し進め、新しい人間像の構築に努めます。

文学部の教育においては、古典や外国語文献の読解、資料の調査と分析、フィールドワークなどを通じて、専門的知識を修得するとともに、柔軟で幅広いものの見方を身につけることを重視します。そのような教育を通じて、次のような社会人の育成を目指します。

- ・過去から現代にいたる人間の営みに強い関心を持ち、日本や世界の社会・文化についての幅広い教養と国際的な視野を持った社会人
- ・人間知にかかわる知見と素養を備え、人文学における高度な研究に携わる基礎的能力や意欲を持った社会人
- ・課題を探究する意欲と能力を持ち、論理的な思考とそれを的確に表現する力量を備え、様々な分野で活躍できる社会人